

塾長の独り言 NO69 H18 .11.2.

新庄剛志、男の生き様に感動！」

～～新庄剛志の目指したものは、何だったのか？～～

日本ハム、日本一優勝、おめでとう!

札幌ドームをお客さんでいっぱいになりたい！」

その夢・ビジョンを掲げ、3年。

強く、願えば実現できる!

新庄剛志は、それを我々に教えてくれた気がします。

パフォーマンスだ!

今までの野球界や世間の常識からすると破天荒な行動が目立った。

残念ながら、人は見た目で判断するものです。

しかし、その本質はどうか?

彼はチームメイトや監督にはとても気を配っていたようです。

阪神からFAで大リーグメッツに移籍。

それも12億円の報酬を捨てて、2200万円の自分の夢に掛けた。

一部の評論家などから、大リーグでは通用しない!とと言われても、実際にそれなりに活躍した。

しかし、アメリカ3年間ではマイナーリーグでの野球人生も経験することで大きく成長したのでは?

「楽しく」「元氣」でやらなければ、ベースボールではない。

「お客さん」あってのものというプロフェッショナルとしての哲学を身に付けた。

日本に戻って、日本の野球を楽しくやりたい!

そんな想いもあって、新天地の北海道札幌の地。

日本ハムでの野球人生に己の全ての野球人生を賭けたのでは?

せっかくなら、野球場に来てくれたお客さんに喜んでもらいたい!

だから、プロフェッショナルとして、自分ができることは何か?

ベンチからセンターまで全力疾走。

全てに一生懸命な姿。

お客さんやチームメイト、監督、フロントに対する感謝の気持ち。

新庄シートでも無料招待席。

決して、球団、監督やチームメイトの悪口や愚痴、批判はなかったそうです。

そんな新庄の想いや気持ちがチームメイトに伝わり、引退宣言以来の快進撃につながったのでは?

表面上の見た目と実際は違ったものだった。

新庄剛志に21世紀の新しいリーダーシップの姿が見えたような気がしました。

<コメント>

札幌ドームをお客さんでいっぱいになりたい！」

そのためには、自分は何が出来るのか?誰から、何を言われようと

日本シリーズ最後の打席。

涙で見えないが、カー杯のカナ振!三振。

3年間の想いが、叶った男の生き様に共に涙した日本人は多かったのではないのでしょうか?